

会員の皆様へ：年会費納入の情報：郵便封筒の宛名下の数字参照。2022は2022年度まで納入済み。

しのばず自然観察会より 2022-12 2022.12.01

2022年12月の活動 不忍池定点観察

集 合：2022年12月18日（日）午前9時 不忍池 蓮池弁天堂南脇藤棚
（雨天実施、上野動物園の入場制限が再開した場合は平日への順延あり）
持 物：筆記用具、双眼鏡、雨具 飲み物、マスク、敷物、（昼食、計数器）
解散は午後1時半頃上野動物園西園予定 寒さ対策も！



例年のように、区域と種類を分担して定刻に一斉にカウントを開始しますので、集合場所、時刻を厳守してください。計数器が必要な方は、必ず前日までに小川に電話でお伝えください。

不忍池がある台東区では、週当たりの新型コロナ新規感染者数の公表を止めてしまいましたが、全国的には第8波の兆しが濃くなっています。気を緩めることなく、感染防止に努めてください。

2023年1月の活動予定 不忍池定点観察＋COD簡易測定

2023年1月15日（日）午前10時 不忍池蓮池南西端集合（野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り）

2022年11月の活動 不忍池定点観察 より

昼前から雨の天気予報でしたが曇り空が持ちこたえた11月20日（日）、9名が参加しました。不忍池ではハスの葉が薄茶色に変わり、おちょこの傘を吊るしたようになっていました。集合地にアオサギが飛んできて目の前のサクラの枝にとまり、肉眼でゆっくり楽しませてくれました。ガマの穂が一部開いて穂綿を飛ばし始め、池畔のラクウショウやアキニレに実がたわわにつき、渋柿もすっかり色づきました。桜の紅葉が例年より早く進んでいるようでした。

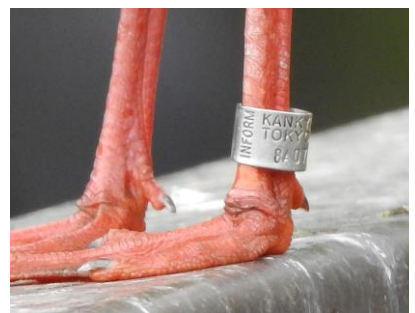


ボート池ではオナガガモ15羽以上、キンクロハジロ約60羽、マガモ2羽、ハシビロガモ2羽、ホシハジロ3羽のほか、オオバン、ユリカモメが見られました。1羽のユリカモメには、左足に小さい鉛色の標識リングがあり、KANKYO CHO TOKYO JAPAN 8U0750（最後の5は不確か）という文字が読めました。

ボート池畔のアキニレの樹上で、カワウが嘴で枝を折っていました。短い枝は取れるのですが、より大きな枝をとカワウの作業が続きました。とうとう体くらいの大きさの枝を折り取り、それをくわえて動物園池の島にあるコロニーへ。ところが一直線の飛行経路ではありません。どこかに別邸でもあるのでしょうか。そう言えば、巣に入るときカワウはたいてい、斜め横上から滑走して迂回コースを辿って戻ります。

11月の観察記録メモ 動物：カルガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、マガモ、ハシビロガモ、カワウ、オオバン、アオサギ、コサギ、ユリカモメ、スズメ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、シジュウカラ、ドバト、コイ

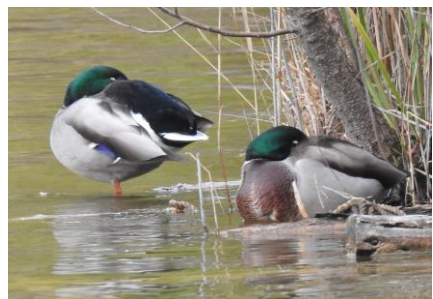
植物 開花中：「十月桜」 実：ガマ、アシ、ハス、カキ、アキニレ、ラクウショウ



標識リングを付けられたユリカモメ



後ろ姿のアオサギ↑ マガモ↓



しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
 1975年創立 電話 03-3828-8775 URL : <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
 郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2021年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ

11月20日の観察会から 小川千恵子

◎落羽松とメタセコイア

水上音楽堂横に大きな松があり、10月9日に落羽松かメタセコイアかと話題になりました。Mさんが落ち葉を1本拾い、弁天堂を裏に抜けて北に向かった右にある3本の落羽松の落ち葉と比べました。同じでした。落羽松は枝に互い違いに針のようなとんがった葉がついているのに対し、メタセコイアは左右同じところから葉が出ているのだそうです。

落羽松は水辺や水中にはえているものもあり、酸素を取り入れる為に地面に気根があるのですが、Mさんは音楽堂横では見られなかったと言っていたので、11月20日に確かめるつもりでした。しかし、何と、巨大な“堀”で取り囲まれ、確かめることはできませんでした。忘れていなかったら、音楽堂改修のためのこの堀が取り除かれた時に、確認しようと思います。

弁天堂裏の3本の落羽松の気根はすごくて、20~30cm以上の茶色の固まりがいくつも地面からニョキニョキと出ていましたが11月20日は巨大な気根がなくなっていました。切ったのでしょうか？切っても大丈夫なのでしょう？木の北の方に出ている小さめの気根は10本以上あって、そのままでした。落羽松は茶色に紅葉した葉が多い部分と、まだ緑の葉の多い部分があり、実はたくさんついていました。

なお、メタセコイアは滋賀県高島市マキノ町の樹齢40年以上、高さ25mの500本が2.4km続く並木道が有名。以前観察会でいった、水元公園や川崎市生田緑地の岡本太郎美術館前の園地でも見られます。

◎その後とその他

・蓮一池の端の方の葉は少し黄色っぽい緑で立っていましたが、中の方の葉は皆茶色くなり、首を折り曲げて一斉にうなだれている姿になりました。

・夾竹桃—プルメリアは緑の葉だけになり、落羽松そばの夾竹桃は4輪咲いていました。

・彼岸花—我家の彼岸花の花が終わったあと、他の花や茎は茶色になって枯れていくのに1本だけ茎が緑で太く長くなり、花のところも1個だけ実が大きくなっているのがありました。これが結実したら来春は育ててみようと思っていましたが、数日すると他と同じような茶色になって、ふくらみもしぼんでしまい、終には枯れてしまいました。これが「不稔性」ということかと再確認しました。来年はぜひ、花粉があれば顕微鏡で見たいと思います。（葉だけのヒガンバナのところに女日芝を見つけました！）

・蝶—山口県宇部市の神田波さんから「今年はアサギマダラをうちの庭で見ることができませんでした」「まわりの人に聞いても『今年少ない』と言っている人が多かった」とお便りがありました。

谷中でも今年はアゲハ蝶の産卵が少なかったです。我家には11月30日現在、6個サナギ状態でいます。